

MANSORY SWISS PORSCHE PANAMERA 4S

ヨーロッパコンプリートの輝き

「もっとも豪華で華やかなクルマ作り」を信条に設えられたコンプリートカー達。そうしたマンソリーの哲学は、ボルシェというベースを用いることでより開花する。孤高のボルシェチューナー「リンスピード」を傘下に収めマンソリー・スイスも誕生した。豪華で華やかばかりではない、美しく強いマンソリーの姿を、パナメーラ4Sで見よう。

文：中三川大地/写真：花村英典
取材協力：株式会社ネソカワコーポレーション ボンドショップ連絡 048-851-4411 <http://www.hosokawa.co.jp>



カーボンメイクはマンソリーの得意とするところ。自社でチューンにカーボンファイバー工場を持ち、大型のオートクレーブで真に一糸乱れぬ高品質なカーボンパーツが少量生産されている。寛好はなんと300km/hを誇るがピツともしない強靭な設計を持つ。



この車は屋外には本国で製作されたコンプリートカーではなく、日本仕様のパナメーラ4Sにマンソリー・スイスから輸入されたパーツを組み上げたもの。マンソリー・スイスは専任のリンスピード、ボルシェチューナーに所属する職人集団が開発、製作する。



装着されるホイールは「CS-1」という特殊、フロント9.5x21、リア11.0x21のサイズを持つ。スポーキーキットによって、ボディとのマッチングを向上させている。タイヤサイズはF:255/35ZR21、R:295/30ZR21。アドバンスポーツが組み合わされている。

ボディキット LED パッケージ	404万 2500円
ボンネット	73万 2900円
カーボンヘッドライトカバー	23万 1000円
カーボンミラーカバー	23万 1000円
フェンダーウイングシート	23万 1000円
リアウイング	73万 2900円
リアルーフスポイラー	20万 7900円
CS-1 (9.5x21)	13万 1250円
CS-1 (11.0x21)	15万 150円
スポーキーキット	9万 7650円
※ポイント代も取可	

はコンプリートで色濃く成立する。幾多のブランドを組み合わせて自分だけの1台を作るの面白いが、やはり定番なマンソリーの完成度を目の当たりにすると打ちのめされてしまう。もし、本國で製作してもらうことが許されるのなら、外装パーツはもとより、材質から仕上げ、カラーリングに至るまで好みを反映したインテリアメイクも届け負けてくれる。敷え切れないほど色や塗り分けの選択技術を用意して待っているから、まさしく世界に1台、自分だけのコンプリートが手に入るというわけだ。吸排気やECU、そこに過給器を交えたパカッ速系チューニングもお手のものだ。なにせメインターゲットは中東である。単純明快な速さや派手さが求められている。

とはいえ本國にまで行かずとも、日本でもこの世界は味わえる。事実、この取材車は、現在積極的にマンソリーの世界を推し進めているボンドグループの手により構築された。日本仕様のパナメーラ4Sを用いて、本國から取り寄せたパーツを組み込んで塗装した。インテリアパーツなど場合によっては、本國へ一度送り戻行してもらうという手もある。そうした部分での対応力はすこぶる高く、日本のインポーターの絶え間ぬ努力も手伝って、まるで彼らがすぐそばにいます。定額半額チューナーのカスタマイズもいろいろ、いま注目されるマンソリーだ。あとは、これをさりげなく乗りこなせる。立派なおトナになれるかどうかである。

強さを内包するカーボン
いま、その最新作たるマンソリー・スイスのパナメーラ4Sが目玉にある。まず目に飛び込んのはその材質だ。地肌が見出す部分を見れば一目瞭然。一糸乱れぬドライカーボンパーツで構成される。マンソリーは

望み通りの仕上げに
このパナメーラ4Sで結実させたように、マンソリーの美学

世界にたった1台の、自分だけのオリジナルを、という、中東を中心とした富裕層に多大な支持を得るマンソリーである。ドイツ南部バイエルン州の小さな田舎町プラントから発信されるマンソリーの精神は「世界でもっとも豪華で華やかなクルマ作り」。もとはベントレーやアストンマーティンから始まって、ロールス・ロイス、ブガッティ、フェラーリなどのスーパーカー系から、メルセデス、BMWまで己の世界に染めてきた歴史を持つ。

その中でボルシェの立ち位置は興味深い。彼らは2007年にスイスのボルシェチューナー「リンスピード」を傘下に収め、リンスピードが持つボルシェ・チューニング技術と、マンソリーの哲学がひとつになったマンソリー・スイスが誕生した。リンスピードの技術を内包したマンソリー・スイスを持つ、この豪華で華やかな世界がボルシェへと注ぎ込まれたのだ。

構成パーツは、前後およびサイドのスポイラーからなるボディキット(LEDパッケージ)に、カーボンボンネット、リヤウイングにリヤルーフスポイラーなど、カーボンミラーカバーやフェンダーウイングシートなどの小技も効いている。ホイールは前後とも21インチ。ナチュラルな5スポークの美しさを持つCS-1/1でスペーサーと共にツライチ状態でセットされる。

自社でカーボンファイバー工場を持ち、大型のオートクレーブで常に繊細かつ高品質なドライカーボンパーツを焼き上げている。単に工場規模のみならず、熟練職人達による手作業での丁寧な仕上げも無視できない。かくして、まるで繊細な宝石のように美しいカーボンの輝き目と、3000km/hでもピクともしない強靭な構造を持つたエアロパーツができた。スタイリングに関しては、コウロシユ・マンソリーのデザイン哲学を元に、さらにエアロダイナミクス性能を加味するべく最新のCADを用いた設計となる。日本のデイトナユースでは実感できる場面など稀だろうが、それでも、強さ、を内包したスタイリングは惚れ惚れするほど美しいものだ。